



福岡市佐賀県人会会報



牛津町会館(旧田中丸邸)と赤レンガ倉庫

目次

表紙	牛津町	
平成九年度総会		2~3
ふるさとの首長・ふるさと紹介	牛津町 石井祐嗣町長	4
ふるさと会・同窓会	鹿島高校	5
このごろ私は・コラム		
田尻文治郎さん、浜野良高さん、山口百合恵さん、小松省己さん		6~7
佐賀県だより 佐賀新聞社提供		8~9
龍造寺一族の大奮戦(一) 古賀利治さん		10~11
最近の入会者名簿・佐賀情報センターだより・編集デスク		12

35

1997. 7

で初当選された、衆議院議員の今村雅弘様よりご挨拶を戴きました。その他の方は時間の関係で、司会より、衆議院議員の保利耕輔様（代理）、坂井隆憲様（代理）、愛野興一郎様（代理）、山崎拓様（代理）、衆議院議員の陣内孝雄様（代理）、県議会議員の古川忠様、市議会議員の宮副博昭様、そして佐賀新聞社の稲田繁生専務を、ご氏名のみご紹介させて頂きました。

引き続き、議事に移り、山下常任理事より、

(一) 平成八年度業務報告。

(二) 平成八年度収支決算書案について

(三) 平成九年度収支予算案について

の報告説明があり、古賀監事の監査報告を受けて各議案は審議され、満場一致の拍手で承認されました。

拍手の余韻の残る中、上川理事より祝電の披露があり、最後に、森副会長の閉会のことばで、平成九年度の福岡市佐賀県人会の総会は平穩に終りました。

(お疲れさまでした)



鏡開き

サテサテ、目の前に酒樽を置いて、我慢するのは非常に辛いことでもあります。しかし、だからこそ、その瞬間の一杯が、まるで宝物の様に思えるのではないのでしょうか。

お待ちどうさまでした。

懇親会の始まりです。

清村理事の案内で、金子会長・筒井副会長・指山副会長・森副会長・無津呂副会長の五氏が舞台上に上られ、ハッピー姿も勇ましく、不況を吹っ飛ばす勢いで、鏡開きが行なわれました。

懇親会



乾杯

さあ、ビールを並々と注いで、全員指山副会長の乾杯の発声を待っております。

「かんぱーい！」

待ちに待った瞬間です。冷えたビールが、渴ききった喉をまるで生き物のように流れてゆきます。

目の前には、オードブルやお寿司や様々な料理が取り揃えられ、四ヶ月ぶりの再会を喜びつつも、箸はしっかりと動いていました。

さて、舞台の方では、来年度の七月二十八日に開港する佐賀空港のキャンペーンレディ三名が、さかんにPRをしていました。

(県人会の皆さん、是非一度利用してください)

～むっぴーより～



談笑風景



談笑風景

平成9年度 福岡市佐賀県人会総会

平成9年6月13日 於KKR博多

総会

梅雨入りはしたものの、なかなか近づいて来ない前線にチョッピリ、水瓶が心配になりそう。六月の十三日、薬院のKKR博多に、百八十名の参加を得て、平成九年度の総会が盛大に開催されました。

受付横には、平成十年七月二十八日に開港する「佐賀空港」のマスコット、むっぴーが、クリクリした目玉で愛嬌を振り撒いていました。

それまで、ざわめいていた会場内も、井上理事の第一声に肅然となり、総会がスタートしました。

初めに、筒井副会長の開会のことばがあり、続いて金子会長より、ご出席戴いた会員の皆様と、ご来賓の方々への謝辞を述べられた後、「景気は昨年からの緩やかな回復基調と言われながらも、業種によっては好不況があり、全体的には景気回復の実感があまりなく、また銀行や証券会社の様々な問題が発生し、益々厳しい経済環境になっているのでは



金子会長の挨拶



木挽副知事の挨拶

野ヶ里歴史公園・嘉瀬川ダム等の大型プロジェクトが着々と完成に向かっており、今後

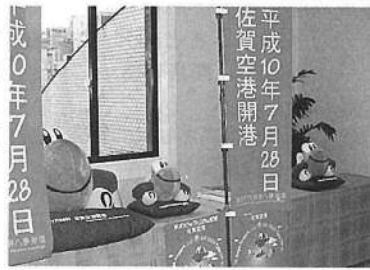
ないか。」と、全体的な見通しを話され、「一方私たちが住む福岡市は、下川端地区の再開発や高速道路の完成等で活況を呈しており、さらにアジアの中心都市として、変貌

しつつあり、その役割にも大きな責任が出てくるのではないかと話されておりました。又、ふるさと「佐賀県」について、大成功裡に終わった「ほのお博」や佐賀空港・吉

益々福岡との関係が密になってくると思いますが、この県人会が、両県の架け橋になるように、皆さんと共に尽力して行きたい。」と、結ばれました。

さて、今年も大勢のご来賓にご出席を戴きましたが、最初に県知事の代理として木挽副知事より、まず昨年の「ほのお博」についてのお礼があり、佐賀県のイメージアップや地域の活性化が図られたこと、又、平成十年七月二十八日に開港する佐賀空港の発着便数について、現在東京四便、大阪四便、名古屋三便と言うことで交渉中とのこと、次に百十七ヘクタールの規模を持つ吉野ヶ里歴史公園を十二年までには、一部開園にこぎつけた、続いて現在八十億の事業費を投じて武雄市に建設中の宇宙科学館が十一月夏の完成の折には、ぜひ来館戴きたいとの、ご案内がありました。

(宇宙基地を思わせる様なデザインだそうです。お子様連れで、ぜひどうぞ、とのことでした。)



マスコット人形 むっぴー

次に、桑原市長の代理として、水道事業管理者の南里兼儀氏より、去る五月のアジア開発銀行総会支援のお礼が述べられ、そのあと「ほのお博」の事後処理に関心を持って見ていると話されていました。

又、ボーダレス時代に於ける「連携と循環」こそが、これからの町づくりの原点になるのではないかと、垣根があった

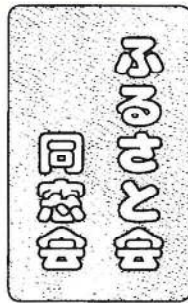
平成10年7月28日 佐賀空港開港

◇歴史の証人「赤門」
本校創立百周年（平成八年四月）を記念して発刊された

◇生い立ち
昭和十八年秋。
第二次大戦の真っ只中、四、五名の同窓生がドロクや鶏を絞めて持ち寄り、こっそりと旧交を温めたのが、福岡鹿城会の始まりだと大先輩諸氏に聞かされ、それ以来、今年の六月十四日（毎年六月の第二土曜日に開催）の総会で五十五回を迎えました。
この間、会長が四人変わり現在は、平成八年三月より五代目として旧制中学校四十六回（昭和二十年）卒業の田代稔氏に、その職をお願いしております。

福岡鹿城会

「母校創立百周年を迎えて」
佐賀県立鹿島高等学校



田代 稔 会長

記念誌「星霜」によると、明治七年に勃発した「佐賀の乱」の戦火によって、栄華を誇ってきた鹿島城は炎上しました。が、今も残るこの雄大な、鹿島の赤門は、鹿島藩の栄華と明治の新時代を駆け抜けていった先達の熱き思いを今に伝える、歴史の証人であり、又鹿島の教育の変遷を見てきた証人なのです。
そして、卒業生にとっては、まさにシンボルそのもののものです。「赤門」があって、鹿島高校がある。決して過言ではなく、同窓生の精神の拠り所なのです。

◇文教百年のあゆみ
本校は、第四代藩主鍋島直條公が藩校として「養花堂」



鹿島のシンボル「赤門」

四月三十日に佐賀県尋常中学校鹿島分校が設立されました。戦後、学校教育法の改正により、鹿島中学校、鹿島高等学校、農商学校が統合されて、佐賀県立鹿島高等学校が誕生しました。

千五百名を越しており、福岡の地にしっかり根づいていきます。毎年六月の第二土曜日に開催される総会には、百二十名前後の出席を得ておりますが、最近の同窓会を見ておりますと、若年層の出席率が特

を整備開設されたことに源を発します。その後、「徳義館」、「弘文館」、「鍛造館」と改称され、明治二十九年鍋島直彬公より、由緒深き赤門跡の地八千六百有余坪を無償にて寄付されたことにより、同年

以後本年四月まで、総勢二、四九一名の優秀な学舎を巣立ち、国内外を問わず各分野で活躍しております。
◇現状は？
現在、福岡鹿城会の会員は

に低くなっており、面白くない、興味が無い、と言う意見が大半を占めます。
意義や目的は、人それぞれで強制はできませんが、時期は違っても、桜の花のトンネルを潜り、同じ釜のメシを食べた仲間です。是非、大勢の仲間の出席を期待したいものです。

◇そして、これから
鹿城会には、鹿島本部と福岡・長崎・東京・関西等四つの支部があります。昨年の創立百周年を機会に、他支部との交流を深めようとのことから、お互いの総会時にまず三役の訪問を長崎から開始しましたが、できれば会員諸兄にも自由に参加してもらい、垣根のない楽しい同窓会になって行けばと考えます。
さらに、今後福岡鹿城会の体質を強化して行く意味で、学年世話人会の活用を図って行きたいと思っております。

文責・福岡鹿城会事務局長
水間 繁 俊

ふるさとと首長



牛 津 町
石井 祐嗣 町長

安全で快適な 町をめざして

我町は、商業の町として栄え明治二七年には町政を施行し既に一〇〇年の歳月を経過しています。
この間、国道三十四号バイパスの開通、農地整備、工場用地・住宅用地の造成、市街地の再開発等、農業生産基盤、都市基盤の整備を図りながら農業、工業、商業が調和する町として発展してまいりました。
町の人口は、住宅団地の造成等によって増加しており、今後も地理的条件の優位性からこの傾向は続くものと思われまます。
安全で快適な暮らしは、すべての人の望みであり、町づくりを進めていく目標でもあります。

ります。そこで、安全な町づくりを推進するため、国営農地防災事業、内水排除施設の増設を進めており、また、人々が生活していく拠点となる住環境の改善を図るため、公共下水道、農業集落排水事業に取り組んでおります。
また、本町の西部砥川の谷地区は「肥前石工」発祥の地であり、石仏等の歴史遺産とあわせて「肥前石工の里」として公園等を整備し、コミュニティの場を創造いたしてまいります。
これからも安全で快適、そして住んで良かったと言える牛津町にするため、町民とともに推進してまいりたいと思っております。



沿道区画整理型街路事業で
再開発された中心市街地

ふるさと紹介

牛 津 町

牛津町は、佐賀県のほぼ中央、北に秀峰天山を望む佐賀平野の西北端の一角にあり、天光山系に源を発した牛津川がゆるやかに蛇行して町の中央を流れ、自然環境に大変恵

まれた町です。
また、九州の基幹道路である国道三十四号線が町を横断して東西に走り、国道二〇七号、県道六路線が町の中心部から放射状に延びる等、交通の利

便性に優れた町でもある。
本町は、長崎街道の宿場町として栄え、近世では玉屋を始め数多くの卸小売商が軒を連ねて「九州の大阪」と称されるほど船運を利用した商業の町として栄華を誇り、数多くの豪商を輩出したが、交通の変遷、商業環境の変化によって我が町の商業は衰退した。そこで、町の中心市街地を都市計画の街路事業と区画整理事業を取り入れ、昭和五八年から十三年の歳月をかけて街の再生を行った。特に、再生を図った中心市街地の中に町が出資して第三セクターの「牛津街づくり株式会社」を設立し、ショッピングセンターと多目的ホールを備えた「セリオ」を平成七年十一月オープンし、地域住民の日常生活の利便性向上と文化の拠点として、また、本町商業の再生の核として期待されている。
この近くには、旧玉屋の赤レンガ倉庫と田中丸家邸宅があり、町づくりを進めるなかで有効な活用方策が検討されている。
いま牛津町では、二一世紀を見据え、都市基盤と住環境の整備を図りながら安全で快適な町づくりを進めている。



TEL FAX
TEL FAX
TEL FAX
TEL FAX

(博多事務所)
二八一二 博多区博多駅東一
一一二五・一六〇
三
TEL・FAX
四五二・二三三五八

れる時が、私共の最高の時でこれがエネルギーとなっています。この方のその時の笑顔が見たい一心でお世話する事が、結果こちらが喜びを与えられている、幸せな仕事だと感謝しております。会社としての取組みは、やはり多久出身の主人が担当、只今ニュースキンの事業展開している所です。博多駅筑紫口近くの事務所は、ミーティングルームもありますので、皆様の各種集いの場にしたいと、趣味をお持ちの方お待ちしています。

(岡)銀河、ブライダル銀河

(多久市出身)

釈迦も怒る動燃事

一年前、福井県敦賀市、動燃施設「もんじゅ」で事故隠しがあり、今年は動燃東海事業所で火災・爆発被ばく事故が起き、つづいて「ふげん」の放射性物質漏れ事故が明らかになりました。いずれの事故も被ばく者が出ているにもかかわらず報告をしなかったりウソの報告をしていました。「ふげん」では過去二年半に十一回も起きており、九六年度の原発トラブルは二十二件（九五年度は二十九件）あり、原子炉停止十二件（資源エネルギー庁発表）あったとのこと。

許せないのは、釈迦三尊の文殊と普賢菩薩の名にあやかりながら、事故をかくしたり、虚偽の報告をし、国民の目から事故をかくしていたことです。さぞかしお釈迦さまも二菩薩も、私の名をけがした」と怒っていることでしょう。

文殊菩薩は「三人寄れば文殊の知恵」で知られる知恵をつかさどり、普賢菩薩は仏の真理や修行の徳をつ

釈迦も怒る動燃事故

一年前、福井県敦賀市、

県人会理事 小松省己
かさどる菩薩さまのこと。
これを悪知恵を働かせる
ために利用するなどとても
ないことです。
私自身、もんじゅとか
ふげんが動燃施設の名
前であることすら、事故が
明らかになるまで、知りま
せんでした。
近岡科学技術庁長官は通
報遅れに怒って、ふげん
の運転を停止したそうです
が、動燃の体質が改善され
るまで「もんじゅ」を含む
全てを停止して安全をチェッ
クし、原子力政策全般を見
直してもらいたいものです
原発安全神話はすでに過去
のもんです。
橋本総理大臣が、頭にき
たと怒ったとのこと。本当
に頭にきて怒ったのは、総
理大臣でもお釈迦さまでも
なく、私たち一般国民では
ないでしょうか。動燃の職
員も被ばく者もその犠牲者
の一人ではないでしょうか
最近わがふる里佐賀の玄
海原発で細管水もれ事故が
あった、大事故にならない
ことを願っている。

会員の作品を

お待ちしています

「会報むつころ」の紙面を通じて、相互交流を深めましよう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの発表会——、なんでも歓迎しています。

絵画、書、造形作品などの場合は写真をお送りください。おまちしています。

投稿作品には、テーマ、住所・氏名・年齢・職業（学校・学年）出身地を記入してください。

また、要点、連絡先を電話
いただくのも結構です。のち
ほどこちらから取材いた
します。

入会の勧め

県人会では毎年恒例の行事として、年度総会および懇親会を催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごころ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めて下さい。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人会事務局へどうぞ。

いつでも どこでも 快適冷房
COOL GEAR
クールギア

福岡トヨタワークリフト株式会社

本社・福岡 福岡市博多区東比恵4-5-14 092-475-4009
博多港 福岡市東区箱崎ふ頭5-9-40 092-631-4009



スポーツクーラー

このごろ
私は

私にとっての

生
甲
斐

田尻文治郎さん



佐賀の田舎育ちの私にとって憧れの都会であった福岡市に定着することができたことを幸に思っています。官勤めを此の地で退職十年も越しました。男性の定年後の生き方をあれこれ言われますが私の場合、将来粗大ゴミとならぬ為と思い定年十年前から何か身につけておきたいと一大決心しました。幸にも義父から

二度目の福岡

浜野良高さん

二十一年ぶり、二度目の福岡支社勤務となった。私どもの業界（九州沖縄地区の県紙福岡支社）では、今春は人事



異動の当り年のようで、約半数が入れ替わったとのこと。早速取引先から、ちよっと趣向をかえてと、能古島の民宿で歓迎会を開いていただいた

その日にあがる新鮮な魚料理は、どれも格別なものであったが、能古島に渡るフェリーからの眺めが素晴らしかった福岡タワー、ドーム、天神のビル群、博多埠頭そして遠く香椎の町まで博多湾いっぱいに光が浮かぶ夜景は雄大で、海の上から日本一気な都市の発展を実感した。

今年は例年になく一有田陶器市への問い合わせが多かった。「焔の博覧会」効果も継続しているようだ。いよいよ来年七月には「佐賀空港」から一番機が飛びたつ。佐賀県の上昇気流を力強く感じている。

（佐賀新聞福岡支社長、鹿島市出身）

— 思い出と

これから――

山口百合恵さん



この四月、多久での法事に八十四才の父と帰って来ました。高速でもとても便利になりました。唐津廻りや長崎本線廻りで、半日かかりながら遠足みたいにはしゃいでいた、幼い日の里帰り風景も懐かしい思い出となりました。今は亡き伯父に誘われて、大濠公園での県人会に出席し面浮立に感動したり、ご婦人方の炭坑節の踊りに加わったのが、三十年前の事でした。今は父について

出席し、私の様な二代目の方
も多数いらっしゃるのでは？
世話好きの父の影響で、私も
ライフワークとして結婚相談
所を開き六年になります。結
ばれて揃って御挨拶に見えら

株式会社ジャパンエナジー 特約店

セントラル石油販売株式会社

本 社 福岡市中央区大手門2丁目3番7号 (〒810)
電 話 (092) 711-1130番 (代 表)
給油所 佐賀市鍋島町八戸564の1 (〒840)
電 話 (0952) 22-2520番

開港は来年7月28日

佐賀空港の開港日が九八年七月二十八日に決まったことを受け、佐賀市の「くすかぜ広場」で一月三十日、「佐賀空港開港残日計」の点灯式があった。

井本知事も出席。「開港までの目標ができた。便数と路線の確保、アクセスなどの課題克服に努め、使い勝手のいい空港にしたい」とあいさつ。同知事と水田唯市・県議会議長、井田圓之・佐賀空港振興協議会長が点灯ボタンを押した。

佐賀空港は九三年七月に建設に着手。二千メートル滑走路やエプロン部分を中心に地盤改良、盛り土、舗装工事などが進められ、九六年度末の進捗率は約八十％。

佐賀市が7連覇

第三十七回郡市対抗県内一周駅伝大会(佐賀陸協、佐賀新聞社主催)が二月十四日から三日間行われ、佐賀市が通算15時間49分25秒で七年連続

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

三十回目の優勝を飾った。躍進賞は前回のタイムを13分21秒短縮した多久市が二年連続で受賞。最優秀賞には長丁場で二つの区間賞を獲得した佐賀市の新人・村瀬恵太郎選手が選ばれた。

通算順位は次の通り。

①佐賀市②伊万里市③神埼郡④杵島郡⑤東松浦郡⑥佐賀郡⑦鳥栖市⑧武雄市⑨鹿島市⑩三養基郡⑪西松浦郡⑫唐津市⑬小城郡⑭藤津郡⑮多久市

十七億四千八百万円、前年度当初に比べて二・一％(約九十六億円)の増加。高齢・少子社会対策に重点を置き、森博効果の活用や佐賀空港開港も視野に入れながら新規事業を盛り込んだ。

県新総合計画第二期実施計画の初年度に当たり、県では食糧費を前年度当初の二億二千四百万円から一億五千万円に減らしたほか、経常経費の削減に努力。四十事業の廃止



健脚を競う女性ランナー

県予選は4747億円

佐賀県は二月十九日、九七年度の当初予算案を発表した。一般会計の総額は四千七百四

三十二事業への補助金を廃止するなど見直した。

新規事業は宇宙科学館建設十九億二千七百万円、海浜型少年自然の家七億七千万円、円など。

さが文学賞に折田さん

第四回九州さが大衆文学賞(笹沢左保事務所・九州電力・佐賀銀行・佐賀新聞社主催)の贈呈式が三月二十八日、佐賀市のホテルニューオータニ佐賀で行なわれた。

「大賞」(壺と百万円)には今回初めて県内の多久市南多久町、会社員折田裕さん(四二)の作品「死んでもいい」が選ばれ、「佳作」(盾と十万円)には香川県丸亀市フリーター山崎秀雄さん(三九)の「重すぎるトランク」が入った。

今回は全国三十八都道府県のほか米国からのものを含み二百三十四編の応募があった。最終選考は森村誠一、夏樹静子、笹沢左保の三氏が当たった。

贈呈式で、笹沢氏が「受賞作二点はほとんど差はなかった。書けば書くほど、味わいが出る。休むことなく頑張っている」と激励した。折田さんは「数年前から小説を書いていて、大賞」を取るまで何回も応募するつもりだった。



喜びの折田さん(中央)右は笹沢さん、左は山崎さん

定期船が初入港

伊万里市の伊万里港七ツ島地区に完成したコンテナターミナルに四月十一日、韓国・興亜海運(本社・ソウル)所属のコンテナ船「第一ドナン号」(二〇〇〇ト)が定期航路の第一船として入港した。同号はベトナム・フナト、家具製材品の入ったコンテナ十二個を陸揚げしたが、航路変更手続きの遅れや厳しい経済環境を反映、積み込む輸出品は

なかった。

同ターミナルは県が国際貿易の拠点として平成八年四月から建設に着手。移動式の大規模クレーンや一・一トンのストックヤードなどを整備した。事業費は七億二千万円。県内初の施設で、伊万里市では市勢浮揚の「起爆剤」として期待しているものの、不安を抱えたままの「船出」となった。

唐津市に無償譲渡

佐賀銀行(指山弘養頭取)は四月二十二日、赤れんがの洋風建築(明治四十五年建設)で知られる旧佐賀銀行唐津支店を唐津市に無償で譲渡した。旧支店は地下一階、地上二階建てで、延べ床面積は千三百二十一平方メートル。敷地は千二百九十三平方メートル。唐津市出身で明治の三大設計家の一人である辰野金吾が監修したとされる。

同日、唐津市役所を訪れて目録を手渡した指山頭取は「佐賀銀行発祥の地であり、市民の手で活用してほしい」と述べた。これに対し、福島善三郎市長も「市にとっても



唐津市に譲渡された佐賀銀行唐津支店

貴重な財産。観光資源、文化資源として利用したい」と謝意を示した。具体的には今後、市民を含めた検討委員会で活用方法を探る。

今年はガタリンピック交流から正式に友好結縁を結んだ韓国高興郡から十人が参加したほか、同時に開かれた「全国かしまサミット」に出席した「かしま」の名の付いた全国五市町村の地域おこしのリーダーも干潟で遊んだ。外国人も留学生を中心に十六カ国、百二十五人が参加。干潟を通じた交流の輪が一段と広がった。

干潟に歓声3万5千人

第十三回鹿島ガタリンピックが五月三日、鹿島市七浦の海浜スポーツ公園で開かれた約千五百人が湯スキーや湯フラインなど十一種目に挑戦。全身泥だらけの珍プレー、ハッスルプレーが展開され、堤防を埋めた約三万五千人を笑いの渦に巻き込んだ。



どろんこになってゲームを楽しむ参加者たち

売上高

20億5千万円

有田陶器市

黄金週間恒例の有田陶器市が四月二十九日から五月五日まで西松浦郡有田町で開かれた。有田商工会議所によると、期間中の人出は前年に比べると一万人減の七十三万人だったが、売上高は過去最高の二十億五千万円にのびた。

今年は曜日配列に恵まれなかったこともあり、人出は中盤が伸び悩み、後半追い上げたものの、前年に届かなかった。博覧会効果について蒲地昭三・陶器市実行委員長は「知名度が上がり、関東や関西からの遠来客が増えたようだ。にぎわいも町全体にひろがった」と評価した。

県内全校に

パソコン

久光製薬(中富博隆社長)が創立百五十周年を記念して、県内の全小学校・中学校・高校にパソコンを寄贈することになり、六月七日、佐賀市のホテルで贈呈式が行われた。同社は弘化西(一八四七)年、旧対馬藩田代大官所の侍医から漢方薬の製法を学んだ久光仁平が、現在の鳥栖市田代で創業。今年が節目の年に当たるため、次世代を担う児童・生徒がパソコンに親しみ、高度情報化時代の主役になれるようにと贈った。

対象は県内の公・私立の全校計三百二十五校で、在籍数が百人以上の学校には三台、百人未満は一台(プリンター、ラック付)。

本欄のニュース、写真はすべて佐賀新聞社より提供いただきました。

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

特別寄稿

龍造寺一族の大奮戦(一)

県人会監事 古賀利治

九州に於ける三大勢力をもち肥前を中心に「五州二島の大守」と云われた龍造寺氏は、肥前の在庁宮人肥前国衛の近くにある甘南備峯城の高木氏の流れと考えられている。龍造寺氏は、文治二年(一一八六)肥前国佐嘉郡小津東郷の龍造寺村の地頭職、南二郎季家を始めていたが、この季家は高木氏の出である。龍造寺村は佐賀市城内付近だと考えられる。季家は高木氏の本家を継いだ高木宗家(甘南備峯城主)らと共に源頼朝に協力し御家人となり、佐賀郡の北部に勢力を保ち開発領主として発展し、又前後して南部の干拓地の開発を行い龍造寺村を中心に発展したと考えられる。文治二年(一一八六)季家は神崎荘の住人、海宿祢重実、らによって高木宗家らと共に神崎荘関係の所領を押し領したとして、後白河院の院庁に訴えられた。季家は逆に海重実、が龍造寺村内の領有

幕府は蓮花主院(三十三間堂)造営の費用分担を命じているが、建長元年(一二四九)五月九日、銭二貫文を六波羅に送ることを、北条時頼と肥前守護武藤資能の書状で長瀬南三郎こと龍造寺季益に達示している。

蒙古襲来と龍造寺氏

文永五年(一二六八)蒙古皇帝フビライの国書が太宰府にもたらされ太宰府の守護人武藤資能はこれを鎌倉幕府に送った。文永の役にも龍造寺氏は高木氏と共に参戦したが詳細は不明である。文永の役後博多湾岸防備の防壁を築くため、肥前の御家人や龍造寺一族も参加した。弘安の役においては季益の子、季時、家が参戦した。武藤資能は、寺崎に向かった元軍を船で追い、寺崎の大瀬戸・小瀬戸・三年浦・幾島・松島等で戦った。この時龍造寺季時が参戦したことが何れも。季時の参戦の軍功を幕府に注進したものである。

去年、異賊襲来の時、七月二日、寺崎嶋瀬戸浦に於いて合戦せしむる由に事、申状ならびに証人起請文、被見せしめおわんぬ、此の由関東に注進

せしめ候。謹言

弘安五年九月九日

時定

龍造寺小三郎左衛門尉殿恩賞を期待して合戦への参加を申し、保証する証人の起請文を添えて肥前守護を通じて鎌倉幕府へ申請しているが、その申告が合戦の一ヶ年過ぎたあとと云う戦後処理のスクローモリ振りが伺える。弘安四年の役後も元軍の再襲に備え異国警固番役は続けられ、龍造寺氏も李時・李友・家益・家種・李利等が博多の姪ノ浜で番役を勤めた。この間龍造寺家益の代まで肥前国龍造寺村のほか、筑前国比伊郷(早良郡)筑後国荒木村(三瀬郡)の地頭に補せられている。

幕府の衰退

元寇後幕府の支配にかけりがみえ正応二年(一二八九)に配分された蒙古合戦勲功恩賞地の配分に不公平感も生じ、御家人達の不満が募っている中、龍造寺一族内でも所領をめぐる紛争が生じた。正和二年(一一三三)には龍造寺家益の遺領の地頭職の件で家実が叔父の家親を再訴していることが伺える。

南北朝の争乱

鎌倉幕府の滅亡期には、肥

前の龍造寺家清の子、家泰も元弘三年(一一三三)五月二十五日北条英時誅伐を名目として、出陣催促に参陣し着到状を七月二十二日に提出している。その後も龍造寺家種・家泰・李利等は建武新政府に属して戦い、足利尊氏が新田義貞討伐を理由に挙兵すると尊氏に従って戦った。新田義貞の軍を箱根竹の下で戦って勝利し建武三年正月京都にはいった尊氏軍勢は北畠顯家らに敗れ西国へ落ちたが龍造寺家種はこれを長門国赤間関に出迎えている。

建武三年(一一三六)十二月後醍醐天皇が京都を出られて吉野にはいり南北朝の対立時代となり建武四年劣勢だった南朝勢力は菊池武重の肥後で挙兵により勢力を盛り返した。九州探題一色道猷は肥前の武士や龍造寺家種にも軍勢の催促をしている。書状によると不参加者には恩賞を与えず、軍功のないものの所領の五分の一を取り上げ参加者に配分すると云うものである。北朝側の危機感である。龍造寺一族は九州探題の命令に従っている。康永元年(一一三三)五月征西將軍宮懐良親王が九州にはいり一色範氏も肥後へ

出兵したが龍造寺家貞にも軍勢の催促状が与えられた。龍造寺惣領家の家種は親應元年(一一三〇)足利直冬(冬)の軍勢催促に応じて戦い、弟の家定も筑前の宗像や筑後の河北で参戦した。これによって敵応元年龍造寺村の吉岡名の田地屋敷や名主職を安堵された。

大保原の合戦

文和元年(一一三二)足利直義が殺されると足利直冬(冬)九州における勢力も弱まり、九州を離れた。この間宮方は肥後の菊池武光を中心に勢力を伸ばし菊池武光は少貳頼尚と結んで九州探題一色氏を政め文和四年には懐良親王が肥前の国府まで攻め入った。延文四年(正平十四年、一一三五)多くの戦記の記すところでは七月十九日南軍は筑後府中(御井町)より草野、耳納の線から一挙に千歳川(筑後川)の本流を渡河した。八月上旬、西鯉坂用丸・古飯の線に進み福童、堂島、山隈の北軍と対峙した。八月六日夜陰に乗じて菊池武光は宝満川の土手に沿って川中を遡上し力武から上陸して少貳頼尚の本陣を側面から攻撃し翌七日にかけてまれに見る大激戦となり両軍多くの犠牲者を出した。

この時の龍造寺家貞の軍忠状左の如し。

肥前国龍造寺吉岡弥三郎家貞申す軍忠事右、良氏(五条良氏)・良遠(五条良遠)ならびに菊池以下の凶徒等の退治の為に、去る四月十六日御出府の間御供仕まつり、猶筑前・豊前・肥前・筑後国々所、宿直致し警固の上八月六日夜、筑後国大保原御合戦の時、分捕頭一・此段今泉孫六、加世彦三郎見知らせしめおわんぬ。もしこの条、偽りし申し候はば、八幡大菩薩の御罰を蒙るべく候、此の旨を以て御披露あるべく候、恐惶謹言 藤原家貞 八月 日 承了(花押)

進上 御奉行所

家貞以外の龍造寺氏一族も同様の行動をとったと考えられる。延文五年(一一三六)菊池武光は甥の武安を将として肥前に進出し、神崎郡を支配した。少貳頼尚と結んで龍造寺一族は対峙した。龍造寺家経は四月十一日、肥後、筑後の菊池勢が太宰府に攻め寄せた時出兵し、有智山城で宿直警固、六月二十九日神崎に進出した菊池勢と松崎・本告の両域を攻め姉川の陣屋で宿

直警固し、翌康安元年(一一三六)太宰府にはいった懐良親王の宮方の軍に対して龍造寺氏は少貳に従って各地に転戦した。この時、家平は松浦郡の大村から筑前の加布利(福岡県糸島郡)に転戦し、家経も筑前の青柳に出陣している。

九州に於ける宮方の優勢の中で肥前の国では、貞治元年(一一三六)懐良親王が三根郡光浄寺を祈願所にしたり、貞治三年、菊池武頼が武雄社に長島荘内の土地の寄進する動きがあった。宮方の勢力が浸透してきた。

南朝勢力の敗走

応安四年(一一三七)今川貞世が九州探題となると、弟の仲秋が肥前にはいり、龍造寺一族及び諸豪族はこれに従った。龍造寺家経の子家定(熊龍丸)は十一月十九日呼子に上陸した仲秋のもとに二十二日馳せ参じ、相知多久・塚崎(武雄)をへて、翌年二月十三日杵島郡甘久の鳥帽子獄で菊池武政の率いる宮方の軍(武雄の後藤氏は宮方)と戦った。宮方はだんだん劣勢となり武光が没し懐良親王は太宰府を去り筑後の高良山へ、さらに肥後へと後退した。しか

しその間今川了俊が少貳冬資を、永和元年(一一三五)に謀殺したため在地勢力との反目が生じた。

室町時代の龍造寺氏

明德三年(一一三九)南北朝の合一が行われ今川了俊が九州を去った。九州探題に瀧川氏が任じられたが力がなく周防・長門の大内氏の勢力が北九州に伸長し、筑前守護の少貳氏も肥前に押し込められる形となった。

少貳氏は龍造寺氏をはじめ、肥前の在地勢力と結ぼうとした。少貳貞頼が龍造寺家治の子、康秀(六郎)に対して「忠節いたし候の条、神妙に候」と云う内容の書状を送っている。応仁の乱(一四六七)では龍造寺家氏は東軍に属し少貳教頼に従って戦い教頼は陣没した。龍造寺家氏の子、康家は少貳教頼の子政資を助け大仁の乱の混乱に乗じ文明元年(一四六九)大内氏の軍を筑前で破り、筑前・肥前・豊前・対馬・寺崎・五ヶ国の守護職を得ている。政資はその後大内政弘の九州出兵で太宰府を去り文明十四年(一四八二)龍造寺氏を頼り、佐賀郡与賀荘に館を築いた。現在の龍泰寺の所在地と伝えられる。(以下次号)

TOYOTA

ハイテンション・スポーツサルーン

九州生まれの
新チェイサー

- 《高性能・新チェイサー》
- エンジンには BEAMS (ビームス)
 - 足廻りは ABS
 - 安全性はエアバッグ
 - ボデーは GOA (ゴア)

TOYOTA トヨタオート福岡株式会社

本社/福岡市博多区竹下2丁目2番31号 ☎(092)411-5511(代表)

お客様相談センター ☎(092)472-5511

福岡市博多区竹下2丁目2番31号 ☎(092)411-5511(代表)

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏名	〒	住所(自宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
鈴木 和子	819			—	富士町
森 和秀	816			トヨタカラー福岡	佐賀市
田中 孝之	815			(株)生研	鹿島市
荒木 加男	815			(株)門宣	大町町
小嶋 正明	815			(有)アソシエ	唐津市

佐賀情報センターだより

昨年四月、成長著しい福岡都市圏の活力を佐賀に呼込むと、福岡市天神のイムズビル七階に佐賀情報センターがオープンして早くも一年が過ぎました。

九州の「人・物・金」が集まる福岡都市圏と「一方向的」ではなく「双方向」での交流拡大を図るためには、まず、できるだけ多くの人々に佐賀の魅力を知ってもらうことが必要と考えます。

そこで、オーブン以来、県内各地の伝統工芸品や名所・旧跡あるいは県内の特産品や主なイベント情報などを、前半は「世界・森の博覧会」、

そして後半は「さがやきものめぐり」、「吉野ヶ里遺跡展」等のセンター企画展を軸にして、さらに土曜・日曜には県や市町村等による各種イベントも実施しながら継続的な情報発信に努めてきました。まだまだPR不足は含めま

せんが、それでもこの一年間で約十万人の入場者を迎えることができました。

今年度は、さらにイベントや情報(資料)の質的・量的



な充実を図るとともに、福岡市内を中心として活動している各種団体やグループの卓話や講演会の題材に佐賀を取り上げる場合とか、あるいは公民館等の学習旅行などで佐賀に出掛ける場合に「講師や現地でのガイドと資料」を無償で提供する「佐賀出前講座」制度の普及と利用促進に努めていく所存であります。皆様のご指導ご協力をよろしく願います。

さがの祭典

〈連絡先〉

所在：福岡市天神一丁目

イムズビル七階

TEL 七三三二〇二三
FAX 七三一五九七七

最後に、センターには佐賀新聞や郷土の情報紙等も取り揃えておりますので近くにお出掛けの際は是非お立ち寄りいただくとともに待合せなどにも気軽にご利用ください。お待ちしております。

所長 西村貞幸



ロクロの実演

会報むつごろ

平成9年7月25日 発行

福岡市佐賀県人会

(発行責任者 田中 秀男)

福岡市中央区大手門2-3-7

昭和商事石油株式会社

TEL 092-714-3111

製作 (有) タナカ製本印刷所

TEL 0955-23-5214

平成九年度総会も和気藹藹の中に終了いたしました。ピンゴゲームの豪華景品に当選の皆さんの笑顔は幸せ一杯でした。

佐賀空港のキャンペーンガール「むっぴー」の笑顔も素敵でした。水間理事の取材の通り楽しい総会でした。ご出席の皆さん本当にありがとうございました。また欠席の皆さん来年の新春懇親会として総会には是非ご参加下さいませ。様お待ちいたしております。

「佐賀県だより」の記事・写真については、佐賀新聞社さんから提供、協力いただきました。ありがとうございます。(T)

編集デスク